

2024年9月16日

突然の災害にどう備える？ ー西日本豪雨被害に着目してー

社会保障法合同ゼミ2024年9月16日

愛媛大学

磯谷 百花・大野 優空・藤井 香帆
古谷 心・山下 千晶・吉岡 厚樹



問題意識

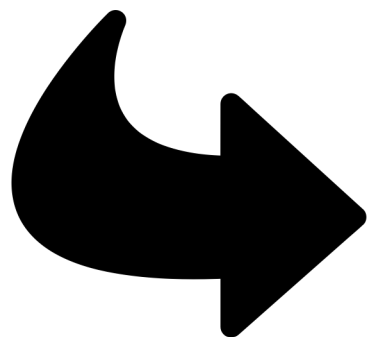
- 西日本豪雨は身近なところで発生した。
- ”愛媛県大洲市三善地区”は災害関連死含め0人の**奇跡の地域**。
一方”岡山県倉敷市真備町”は被災地域の中でも特に被害規模が大きかった地域。

問題意識

災害前の取り組みが優れていた”愛媛県大洲市三善地区”

災害後の復興に向けた取り組みが優れていた

”岡山県倉敷市真備町”



2つの地域それぞれの強みを取り上げて
突然の災害にどう備えるかを検討する

目次

- 01. 地域における自然災害の歴史と
西日本豪雨災害の被災状況
- 02. 聞き取り調査
- 03. 課題と結論
- 04. 質疑応答
- 05. グループワーク



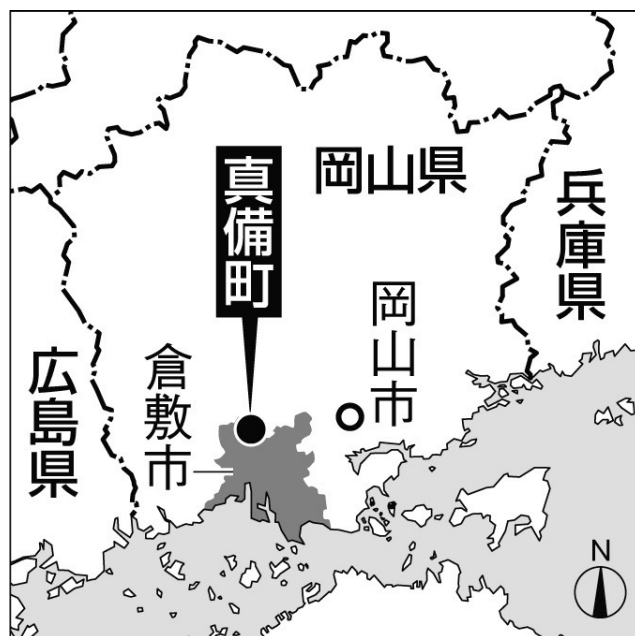
01. 地域における自然災害の歴史と 西日本豪雨の被災状況



過去の自然災害

岡山県倉敷市真備町（人口22,683人、8,809世帯）

- ・ 嘉永3年の水害・明治2年の水害
- ・ 明治13年の水害・明治26年の水害



出典 朝日新聞デジタル



出典 NHK岡山放送局

過去の自然災害

愛媛県大洲市三善地区（面積 1,113ha、人口 775人、397世帯）

- ・ 昭和18年の水害・昭和20年の水害
- ・ 平成7年の水害・平成16年の水害



出典：共同通信イメージリンク



災害対策基本法

東日本大震災以降、2013年に災害対策基本法の改正により
避難行動要支援者名簿規定が創設。

また、2021年の改正で個別避難計画の作成を
市町村に努力義務化



参照（内閣府 防災情報のページ 避難行動要支援者の避難行動支援に関すること）

西日本豪雨の被害状況

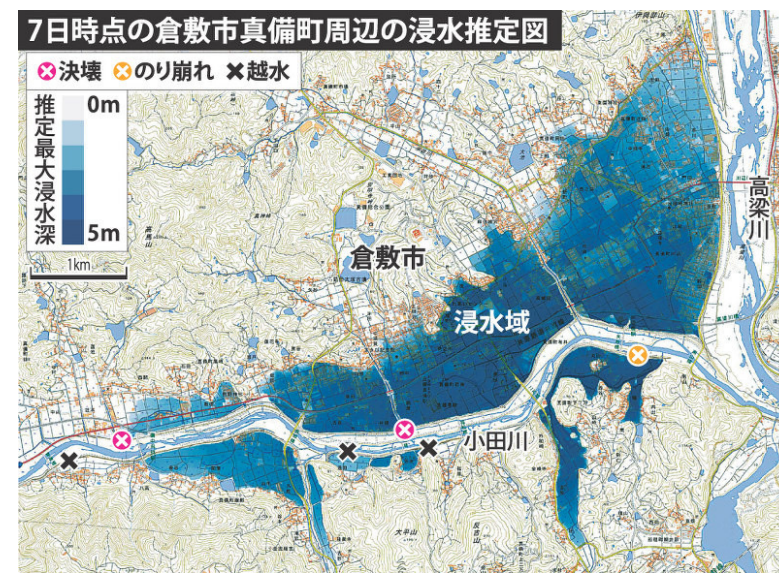
岡山県倉敷市真備町

河川決壊：4河川8カ所

浸水被害：1200ha（真備地区の約30%）、約60000家
屋

人的被害：真備地区内 **直接死51名**

救助情報：自衛隊・消防隊等の救助者 2350名



※国土地理院提供の図から作製

西日本豪雨の被害状況

愛媛県大洲市三善地区

河川決壊：**区** 肱川（1級河川） 鹿野川ダム、野村ダム放流

浸水被害：約102ha（三善地区の20%）、87家屋

人的被害：**災害関連死含め0人**



02. 聞き取り調査



聞き取り調査①

岡山県倉敷市真備地

調査場所 区

- ・真備支え合いセンター

日時：2024年8月21日

内容：被災前後の状況をインタビュー
（防災対策の有無、被災直後、被災後の
課題など）主に西日本豪雨発生後に日常
生活に戻るための支援や対策について、
支え合いセンターの活動について



聞き取り調査②

愛媛県大洲市三善地区

調査場所

- ・大洲市役所
- ・三善コミュニティセンター

日時：2024年8月5日

内容：被災前後の状況をインタビュー
（防災対策の有無、被災直後、被災後の
課題など）



聞き取り調査

【1】 倉敷市と大洲市の被災前の状況や取り組みについて

① 岡山県倉敷市真備町の被災前の状況

- ・ 個別避難計画は存在しなかった。
- ・ 地域によって避難訓練や避難計画の有無に差があった。
 - ⇔地区同士で合同避難訓練を行った所もあった。
 - ⇔福祉施設・介護施設ごとの避難計画はあった。

聞き取り調査

【1】 倉敷市と大洲市の被災前の状況や取り組みについて

② 愛媛県大洲市三善地区の被災前の状況

- 三善地区自主防災計画の策定
- 災害避難カードモデル事業やワークショップの実施
- 地域間のコミュニティづくり

防災のための取り組みに力を入れている

聞き取り調査

② 愛媛県大洲市三善地区の被災前の状況

愛媛県大洲市三善地区 自主防災計画策定の経緯

平成18年2月

三善地区自主防災組織結成

平成27年4月

国から市を通して内閣の指導案の話があり引き受ける

平成18年当時の三善地区自主防災計画を国の指導の下訂正

平成27年

三善地区自主防災計画策定

平成28年度

災害、避難カードモデル事業実施

聞き取り調査

—

災害・避難カード

カード版

表面

「災害・避難カード」—わたしの情報	
ふりがな 名 前	
性 別	血液型
生年月日	
住 所	
電話番号	
留意事項	持病、飲んでいる薬など

避難時は、このカードを持って行く！

裏面

家族（頼りになる人）の緊急連絡先	
氏名	連絡先（職場・携帯など）

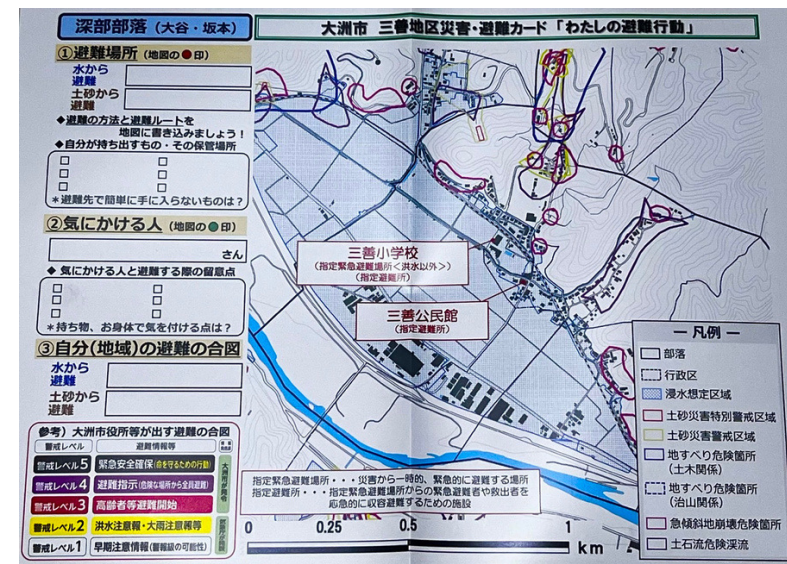
電話が
つながらないときは、**171**（災害用伝言ダイヤル）

※音声説明あり

自分の居場所を伝える
録音「1」

家族の居場所を調べる
再生「2」

リーフレット版



聞き取り調査

② 愛媛県大洲市三善地区の被災前の状況

ワークショップ

災害・避難カードの書き方使い方について町内の役員だけでなく一般人も理解する必要があると考えた

まず17区長へ説明会を実施
(各地区にあった対応が可能)



その後区ごとに各世帯へ説明
必ず各世帯一人は出席してもらう
欠席者0で3カ月要する



すべての住民がカードの存在を認知し、活用できるように

聞き取り調査

② 愛媛県大洲市三善地区の被災前の状況

地域間のコミュニティ作り

コミュニティセンター主体
の行事の実施

多方面との連携

電話連絡網の構築

民生委員の存在

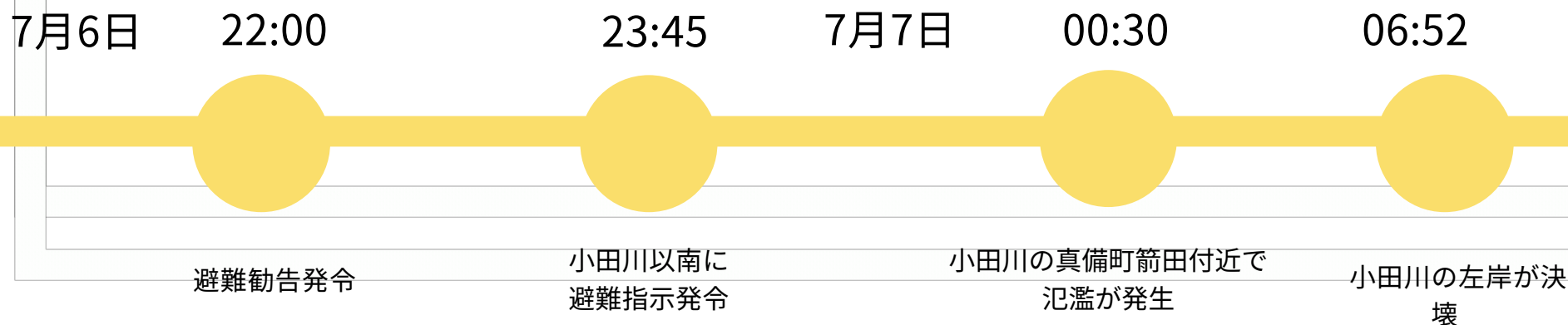
役員だけでなく
一般の人も参加

地区独自の
有線放送の用意

聞き取り調査

【2】 西日本豪雨災害当時の状況について

① 倉敷市真備町の当時の状況



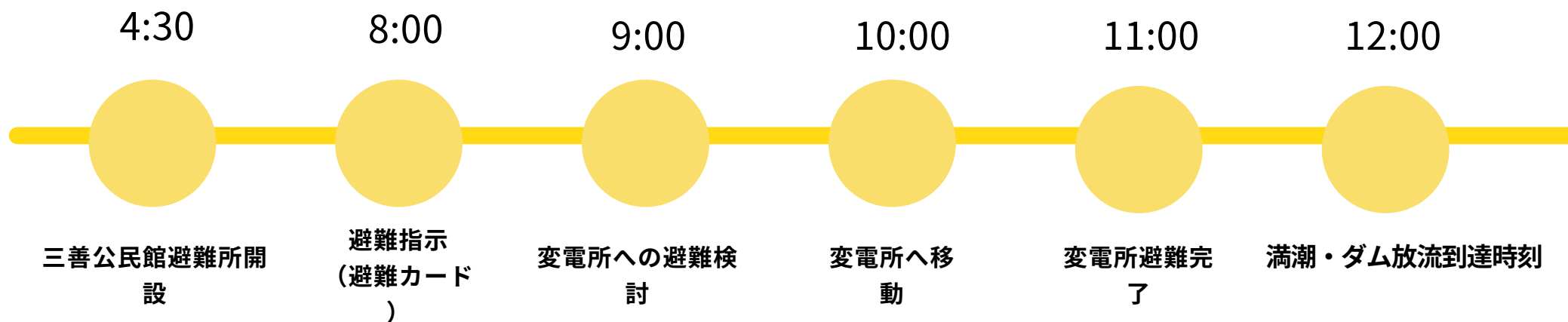
➡ 深夜に決壊が発生したこと・5メートル以上の浸水が予想外であったことから高齢者を中心に避難の遅れが出た。

聞き取り調査

【2】 西日本豪雨災害当時の状況について

② 愛媛県大洲市三善地区の当時の状況

7月7日



聞き取り調査

【2】 西日本豪雨災害当時の状況について

愛媛県大洲市三善地区の事例

- ・避難していない住民のもとを訪れた時、住民は冷蔵庫が浮くのを防いでいた
しかし、「今すぐに避難すべき」という地域の人呼びかけに応じ避難を開始
階段を下りた時の水位は腰の位置であったが、庭の段差を下りた時、首の位置に到達

日常的に生活していても
泥水の中で階段のような段差を把握することは難しい

(水位が口や鼻の位置であれば、泥水を吸ってしまい助からなかった可能性。)

聞き取り調査

【3】 西日本豪雨災害発生後の取り組み

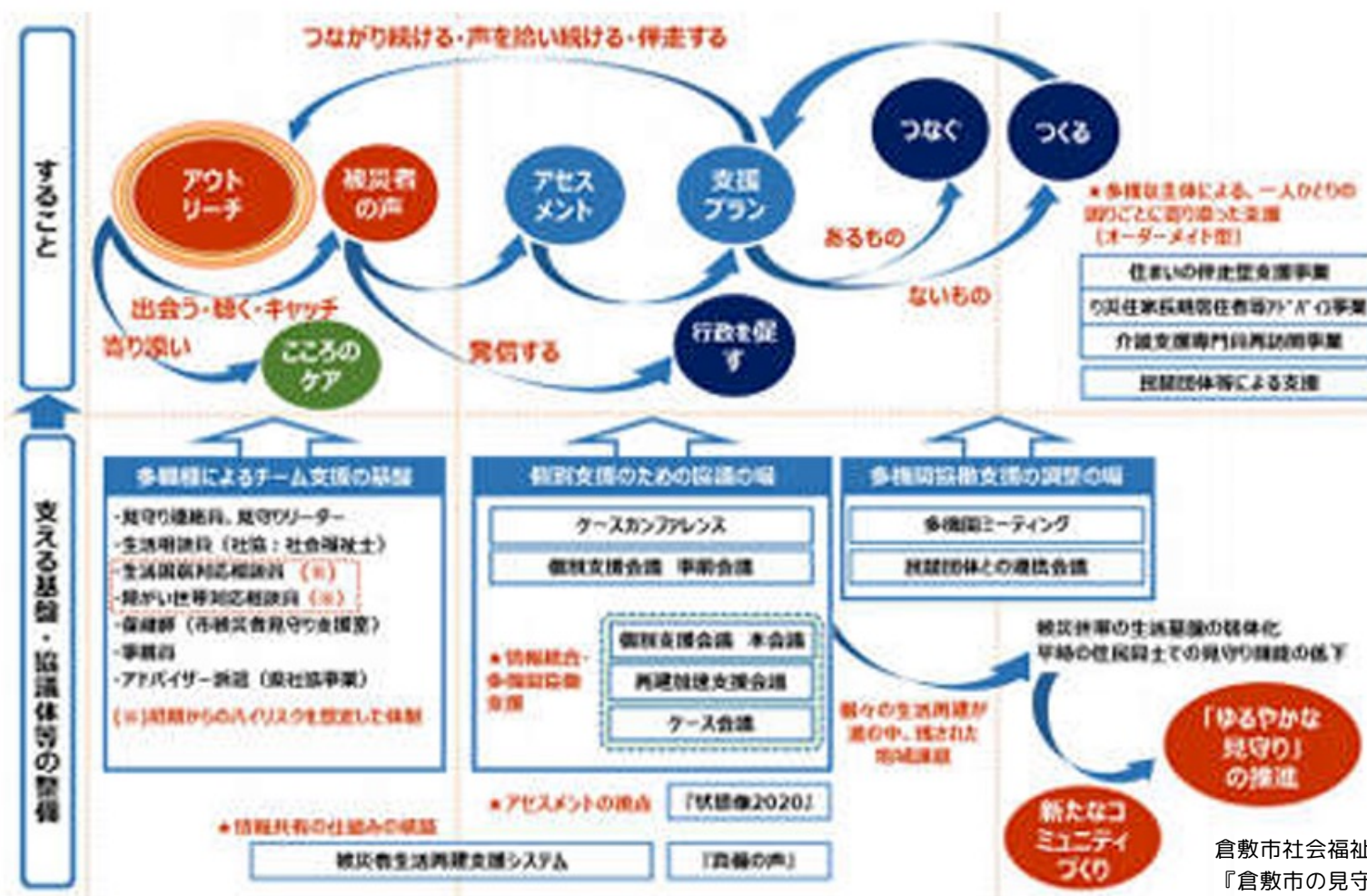
①岡山県倉敷市真備町の災害後の取り組み

- ・ 真備支え合いセンターを設置
⇒様々な機関と連携・長期的な地域支援の実施
- ・ 被災者の元へ出向いて話を聞く支援の実施
- ・ 災害ケースマネジメントを実施
⇒専門的で個人の事情に合った支援への接続



聞き取り調査

倉敷市版災害ケースマネジメント



倉敷市社会福祉協議会
『倉敷市の見守り支援事業の概要』より引用

聞き取り調査

世帯の類型化

<被災世帯の支援類型>



聞き取り調査

【3】 西日本豪雨災害発生後の取り組み

岡山県倉敷市真備町の災害後の取り組み

- ・「世帯の類型化」を実施し、分類Ⅳの世帯への支援を手厚く
&
被災者の声を反映した住宅再建の支援の長期継続
- ・仮設住宅入居者だけではなく、一部損壊した自宅に住み続ける人への支援も行い被災者の孤立の防止
- ・マイ・タイムラインの作成の推進

聞き取り調査

【3】 西日本豪雨災害発生後の取り組み

愛媛県大洲市三善地区の災害後の取り組み



コミュニティづくりの
強化

盆踊りや球技大会の
実施など



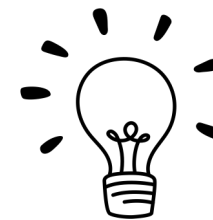
情報提供の多重化

コスモキャスト・X
LINEなどを加えた



防災教育

小中学校へ出前授業
自主防災組織への
研修・訓練の実施



コミュニティセンター
への備蓄

水や食糧、コロナ検
査キットなど

聞き取り調査

【3】 西日本豪雨災害発生後の取り組み



聞き取り調査のまとめ

●岡山県倉敷市真備町

- ・被災後、復興に向けた仕組みづくりや制度の整備に取り組み、住民の生活再建が進んだ。
- ・住民の意識が変化し、災害への対応に積極的に取り組むようになった。

●愛媛県大洲市三善地区

- ・被災前から避難カードの作成やコミュニティづくりができていたため、最小限の被害に収まった。

03. 課題と結論



課題

●制度的課題

- ・努力義務のため、個別避難計画の策定ができていない自治体もあった。

●地方自治体の課題

- ・高齢者に対するデジタル対応やフォローができていない。
- ・防災マップや計画などを策定してはいるが、当事者意識をもって住民らが実際に見ているのか、機能しているのかが不明確。

課題の解決案と結論

— この課題の解決案として私たちが出した結論は、、、

**デジタルへの対応が遅れている高齢者への支援として
何らかの対応を自治体に義務付ける。**



**Ex. 自治体によるスマホの使い方の教室の実施
使い方を書いた紙媒体の説明書の配布**

**マイ・タイムラインや避難カード（誰とどこに避難するかを把握する）
を全員が当事者意識を持って作成する。**



Ex. 親子で参加するイベントで実際に作成してもらう

参考文献

—

- ・ 愛媛県大洲市危機管理課『大洲市復旧・復興報告書(平成30年度 7 月豪雨災害)』
令和 5 年度(<https://www.city.ozu.ehime.jp/uploaded/attachment/40189.pdf>)
- ・ 平成30年 7 月豪雨災害 対応検証報告書
(https://www.bousai.go.jp/fusuigai/suigai_dosyaworking/pdf/kurashikikensyou.pdf)
- ・ 平成30年7月豪雨災害記録誌 (<https://www.pref.okayama.jp/page/653529.html>)
- ・ 松山市HP マイ・タイムラインを作りましょう
(<https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/bosai/bousai/keihatu/mytimeline.html>)

ー現地調査時の配布資料ー

- ・ 倉敷市社会福祉協議会『倉敷市社会福祉協議会の行う被災者支援』(令和 6 年度 8 月21日)
- ・ 三善コミュニティーセンター『当時の時系列』(令和6年度8月5日)